

Feng-Shui Gallery

special edition vol.68

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

『曲線を用いたLDKデザイン vol.2』



【写真1・2】 ダイニングとリビングのスペースを曲線の腰壁で仕切ったLDK。包み込まれるような、安心感のあるリラックス空間にデザインされています。スキップフロアと腰壁の流れるような連続した曲線形状によって、スムーズに気が流れる居心地の良い空間になっています。**【写真3】** 扇型のスキップフロアと半円型の出窓がアクセントとなっているリビング空間。スキップフロアなどで空間に高低差を作ることで、気は活発に動き、曲線形状は気の流れを潤滑にしてくれます。そして色彩や光といった要素をプラスすることで、その空間をより質の高いものへと創りあげることが可能となります。**【写真4・5】** ストライプ柄のアクセントクロスが施された曲線壁のあるダイニング空間(写真4)。曲線壁にアクセントクロス(写真5のように他の壁面と色を変えることも可)を用いることで、より動きのあるデザインとなり、空間の気の流れが活発になります。アクセントクロスで他の壁と色を変える場合、少し濃い色や鮮やかな色を選ぶことで、視線を集中させ良い気を発生させることができます。



【大写真】 大きな曲線のスキップフロア(段差)と、連続したアーチ型の壁面開口がアクセントとなっているリビング空間。家族の団樂の場に適した、気の流れが活発になるようなデザインとなっています。

**家族の集まるLDKに曲線のデザインを用いることで
空間に動きを与え、気の流れを高めるとともに
家族団樂の空間を生み出してくれます**

家族団樂の空間であるLDKには、曲線のデザインを用いることで包み込まれるような安心感や、柔らかなイメージを与えることが大切です。動きのあるデザインは、空間の気の流れを活発にし、明るい雰囲気をもたらします。